% NDPF

-Kirei

Lifestyle Plan-

責任ある原材料調達 🕬 📑

資源保護、環境保全や安全、人権などに配慮した原材料を調達すると共に、トレーサビリティの確保に努め、サプライヤーとの対話を通じ、よりサステナブルな原材 料調達をめざします。

社会的課題

製品の原材料調達において、乱開発による原産地の 環境破壊、生物多様性の損失、およびサプライチェーン における労働者の人権の保護、安全・衛生管理、原産地 の地域住民の強制移住、健康被害などが大きな課題に なっています。

方針

花王は「調達基本方針」に則りESG調達を推進するた め、2022年6月に既存ガイドラインを改定し、「お取引 先に求めるパートナーシップ要件し、「お取引先との ESG推進活動 | および「ハイリスクサプライチェーンか らの調達 | を制定しました。

「調達基本方針」では、購買取引の公正・公平、遵法・倫 理、社会的責任の項目を定めています。持続可能な社会 の実現への貢献をめざし、資源保護・環境保全や安全、 人権などへの配慮を定め、遵法・倫理と併せ「ESG調達」 に対応しています。

「お取引先に求めるパートナーシップ要件」では、遵法・ 倫理、人権・労働、公正・公平、サプライチェーンマネジ メント、環境管理、持続可能性などの要件への遵守をサ プライヤーに求めています。花王とサプライヤーとの 間で締結する取引基本契約書においては、上記の環境・

人権・労働等に関する条文を明記しています。

「お取引先とのESG推進活動」では、持続可能なサプ ライチェーン構築、"ハイリスクサプライチェーン"へ の取り組み、お取引先との連携強化を定め、お取引先と 共に、サプライチェーン全体のトレーサビリティを確 保し、資源保護・環境保全や安全、人権などの社会的課 題の解決に貢献します。

また、「ハイリスクサプライチェーンからの調達」では、 持続可能な天然資源の調達への取り組みを定め、パー ム油および紙・パルプの調達に関する行動指針を規定し、 本質的な課題解決に向けたアプローチを記載しています。 特に森林破壊ゼロに対しては、NDPE*を支持し、サプ ライヤーとそのグループ企業、またその投資先企業に 対してNDPEの遵守徹底の要求と確認を進めています。

No Deforestation, No Peat and No Exploitation (森林破壊ゼロ、 泥炭地ゼロ、搾取ゼロ)

Critical supplier (ビジネスの視点) 累積購入金額上位 50%以上 切り替え不可能な原材料 High-Risk High-risk supplier Supply-chain High-risk area (ESGの視点) (パーム、紙・パルプ) (エリアの視点) 天然素材を原材料とする原料 紛争地域、人権問題等で指摘のあるエリア 自然林など環境保護エリア Sedexまたは花王SAQ未調査サプライヤー または、回答済みでDランク 不適切行為・不正行為を行ったサプライヤー

https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/ jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-policy.pdf

お取引先に求めるパートナーシップ要件

https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/ jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-partnershiprequirements.pdf

お取引先とのESG推進活動

https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/ jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-esgpromotion-activities.pdf

ハイリスクサプライチェーンからの調達

https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/ jp/ja/corporate/sustainability/pdf/procurement-supply-chainmanagement.pdf

牛物多様性の基本方針

https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/ jp/ja/corporate/sustainability/pdf/biodiversity-basic-policy.pdf

P327 生物多様性

戦略

リスクと機会

リスク

調達におけるリスクには、異常気象や自然災害、地政 学的な影響や国際紛争などさまざまな要因による原材 料価格の変動により、計画通りに調達ができなくなる リスク、需要の急激な変化やサプライヤーのトラブル により、安定調達が損なわれ製品の市場への供給に支





Lifestyle Plan-

責任ある原材料調達 🕬 📑

障をきたしてしまうなどのリスクがあります。

また、花王グループの原材料はパーム油や紙・パルプ 等の自然資本に大きく依存しており、省資源、地球温暖 化防止、生物多様性保全等の環境面、安全・衛生、労働環 境、人権等の社会面に十分配慮し、持続可能な調達を実 現することで、企業としての社会的責任を果たしてい く必要があります。そうした中、サプライチェーン上の 何らかの理由で、持続可能な責任ある調達への取り組 みが不十分と見なされた場合、当社グループのブラン ドイメージ、信用の低下につながる可能性があります。

機会

原材料の調達として、サステナブルな社会に貢献す るためには、「ESG調達」が重要です。

ESG調達における環境面では「ハイリスクサプライ チェーンからの調達」に基づいたパーム油、紙・パルプ の調達を推進し、社会面では「花王人権方針」に基づく 人権デュー・ディリジェンス、「お取引先に求めるパー トナーシップ要件」に基づくサプライヤーのリスクア セスメントを実施しています。また、2030年までの 「ESG調達」を中心とした中長期目標をKirei Lifestyle Planに定め、責任ある調達を推進しています。

これらの活動を継続していくことによって「ESG調達」 の分野において世界のトップランナーをめざします。

戦略

花王にとって、最も大切にすべき天然資源はパーム であり、持続可能なパーム油調達に向けた活動を進め ています。サプライチェーンにおけるリスク把握・改善 の取り組みとして、農園までのトレーサビリティの確保、 RSPO 認証油への100%切り替えを推進します。さらに、 課題の本質解決に向けて小規模パーム農園の支援 (SMILE)およびグリーバンスメカニズムを導入します。

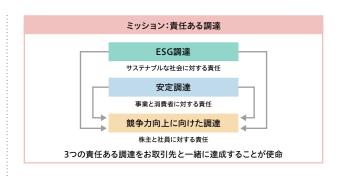
P97 主な取り組み

また、サプライヤーの人権リスクを把握するためにESG 調査に基づくリスクアセスメントを実施しています。リス クが大きいと判断したサプライヤーに対してはSMETA 監査の実施を求め、課題の改善につなげていきます。

社会的インパクト

ESG調達と共に、生活者、顧客の皆さまに製品を安定 的に提供していくための「安定調達」も"よきモノづくり" を推進する上で、必要不可欠な要素となります。花王の 購買部門は、「ESG調達」と「安定調達」の2つを基軸とし、 さらに「競争力向上に向けた調達」を加えた責任ある調達 を推進します。

これらの3つの活動をお取引先と一緒に推進すること により、生活者および顧客の皆さまが安心して花王の製 品をお使いいただくことができます。



貢献するSDGs













事業インパクト

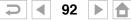
関連する環境面および社会面のさまざまなリスクを低 減し、コストを抑制することに寄与します。また、ブラン ドイメージおよび社会的信用の向上につながります。

ガバナンス

体制

取締役会の監督のもと、「責任ある原材料調達」に関 するリスク管理は内部統制委員会で、機会管理はESG コミッティで行っています。これら委員会の委員長は 共に代表取締役 社長執行役員が務めています。

「責任ある原材料調達」に関するリスク管理は、内部



Lifestyle Plan-

責任ある原材料調達 GRI2-28, 3-3, 404-2

統制委員会(年2回開催)とその下部組織のリスク・危機 管理委員会(年4回開催)で実施しています。委員長は コーポレート戦略部門担当役員が務めています。

「責任ある原材料調達」に関する機会管理は、ESGコ ミッティ(年6回開催)で実施しています。外部有識者で 構成されるESG 外部アドバイザリーボードがESGコ ミッティの諮問に対する答申や提言を行い、社外の視 点を経営に反映し、ESG 推進会議がESG戦略を遂行し ています。

加えて「人権・DE&Iステアリングコミッティ」が役 員クラスのオーナーのもと、戦略策定から実行計画化 も実施し、確実かつ迅速に実行に移しています。

購買部門は、ESG調達、安定調達および競争力向上に 向けた戦略調達の3つの方針を戦略的にコーディネー トして競争優位性を実現することにより、すべてのス テークホルダーに対して「責任ある調達」を推進します。 「責任ある調達」を実践するために、2020年に購買部門 内の組織体制を大きく、「戦略ソーシング」組織と、「オ ペレーション革新 | 組織に再編しました。

「戦略ソーシング」組織では、3つの調達方針に基づい た中長期的な調達戦略を策定し、実行することを主な ミッションとし、「オペレーション革新」組織では、効率 性やタイムリーなサプライチェーン上の情報共有に関 する革新を主なミッションとして活動しています。

P18 Our ESG Vision and Strategy > ガバナンス

教育と浸透

責任ある調達を実行するためには、購買部門の社員 一人ひとりが必要な知識を習得し、「調達基本方針」や 各種ガイドラインを理解して行動に移していくことが 必要です。このため、さまざまな研修や啓発活動を行っ ています。例えば、新卒・キャリア入社社員の導入研修、 若手部員研修等で、ESG調達、安定調達、戦略的調達の 理解を深めています。

ステークホルダーとの協働

花王は、国内外のサプライヤーとベンダーサミット、 品質向上会議等を通じて意見交換を行っています。サ プライヤーのモニタリングにSedexを活用し、Sedex への加盟、回答等を求めることでサプライチェーン全 体でのリスクアセスメントを図っています。また、 CDPサプライチェーンプログラム等さまざまな取り組 みを通じて、サプライヤーとの連携を強化し、グローバ ルな調達の推進に取り組んでいます。

さらに、海外のビジネスパートナーと共に社会的課 題に向けた本質的な課題解決に取り組んでいます。

また、NGOとの対話も継続して実施しており、さま ざまな視点に立ったご意見・アドバイスに対して真摯 に対応しています。持続可能な調達やトレーサビリティ

の確立などをめざして、日本ではIaSPONに、グローバ ルではSUSTAINに参画するなど、他社・外部団体とも 活発に意見を交わしています。

リスク管理

花王として、リスク・危機管理委員会事務局(危機管 理・RC推進部)から各部門、子会社に対して、網羅的お よび特定のテーマに関するリスク調査が実施され、重 要リスクの洗い出しと対応策の見直しが進められてい ます。基本的には、主管部門が中心となり対応していま すが、組織横断的なリスクや共通するリスクについては、 関係部門と連携して対応の強化を図り、必要に応じて コーポレートリスクテーマとして対応が行われています。

Our ESG Vision and Strategy > リスク管理







-Kirei Lifestyle Plan-

責任ある原材料調達

目標と指標

中長期目標と2022年実績

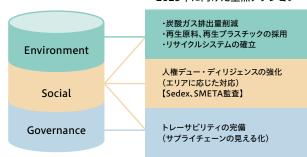
中長期目標

「ESG調達」における環境面では原材料の炭酸ガス排 出量の削減、再牛原料・再牛プラスチックの採用、容器 のリサイクルシステムの確立などに取り組みます。

社会面ではSedex およびSMFTA 監査の推進により サプライヤーの人権デュー・ディリジェンスの強化に 努めます。

ガバナンス面では原材料の原産地までのトレーサビ リティを確保し、サプライチェーンの見える化をめざ します。

2025年に向けた重点アクション



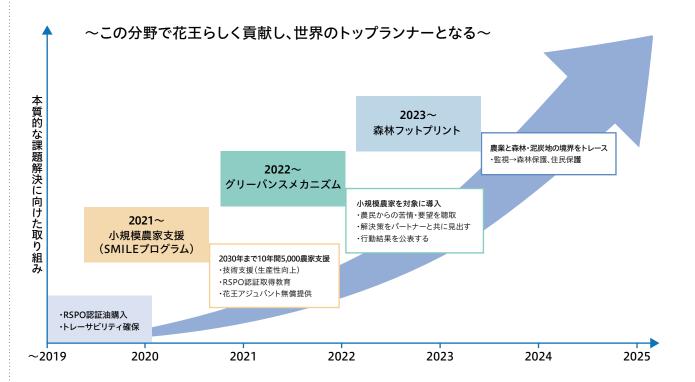
特にパーム油・パーム核油の調達においては、RSPO* 認証油の購入推進、トレーサビリティの確保から、さ らに、小規模パーム農園支援、グリーバンスメカニズ ムの構築、森林フットプリントの公開へとサプライ チェーン上での本質的な課題解決に向けて活動を拡大 しています。

1. トレーサビリティの確保

パーム油・パーム核油の調達においては、生物多様性 の保全に配慮し、森林破壊ゼロをめざします。また、 2025年までに花王グループが使用するすべてのパー ム油をRSPO認証油とすることをめざし、さらに、 2025年までにパーム農園までのトレーサビリティ確 認完了をめざします。

紙とパルプの調達においても、生物多様性の保全に 配慮し、森林破壊ゼロをめざし、2025年までに家庭用 製品に使用する紙製品およびパルプを100%認証品と することをめざします。また、原産地までのトレーサビ リティも引き続き確認します。

※ RSPO: Roundtable on Sustainable Palm Oil (持続可能なパーム 油のための円卓会議)



責任ある原材料調達

2. 人権への取り組み

さまざまな人権問題のリスクに対応するため、2015 年に「花王人権方針」を定めました。花王の活動に加え サプライヤーへも「お取引先に求めるパートナーシッ プ要件 | に基づく人権のための行動を要請し、人権 デュー・ディリジェンスを実施しています。

このリスクを評価するため、2014年に世界的な企業 倫理情報共有プラットフォームであるSedex に加盟し、 サプライヤーにも加盟を要請しています。2025年まで にサプライヤーのデュー・ディリジェンスの実施率を 100%とすることをめざします。また、ハイリスクと評 価されたサプライヤーに対してはSMETA 監査の実施 を求め、課題の改善につなげていきます。

2022年実績

1. トレーサビリティの確保

・パーム油・パーム核油の調達

サプライヤーが所有する自社農園までのトレーサビリ ティの確認:完了

ミルリスト公表(ミル名、所在地):完了

認証油の調達:パーム油全量に対するRSPO認証油比 率:34%

小規模パーム農園の支援:390農園がRSPO認証取得 グリーバンスメカニズムの導入:2022年9月運用開始

認証油購入実績※1 ✓ (花王グループ)



※1 認証パーム油、認証パーム核油および認証パーム由来原料の合計

%2 Book & Claim

RSPO認証クレジットを生産者と最終製造者、販売者との間でオン ライン取引する認証モデル

%3 Mass Balance

流通過程で認証油と非認証油が混合されるが、購入した認証油の数 量は保証される認証モデル

・紙・パルプの調達※4

トレーサビリティの確認:100%

うち、紙・パルプの認証品比率※5:97%√(2022年12月 時点)

※4 花王製品に使用する紙・パルプ(一部製品を除く)を対象とします。 ※5 紙・パルプの認証品比率は調達品目ごとの認証品重量の比率を集計 しています。

2. 人権への取り組み

Sedexによるアセスメントを2017年から実施して います。2018年よりアセスメントの対象をグローバル に拡大しています。※6

・Sedexによるサプライヤーのリスクアセスメントで

の総合評価(2022年12月時点):S評価24%、A評価 38%

総合評価	SAQ回答率※7	Sedex リスク評価**8	割合
S	80%以上	3.0以上	24%
Α	80%以上	2.0以上3.0未満	38%
В	80%以上	2.0未満	29%
C	80%未満	_	9%

- ※6 評価対象はSedex の新 SAQ(自己評価アンケート)に回答した1221
- ※7 Sedex の新 SAQ に対する回答率
- ※8 Sedex アセスメントツールによるマネジメントコントロールスコ アの値 $(0\sim5$ 、値が大きいほどマネジメントが良好)

また、2021年より、ハイリスクサプライヤーに対し てSMETA監査の実施を開始しました。2022年はコン プライアンス違反を含むハイリスクサプライヤーの29 社に対してSMETA監査を実施し、社内体制の改善を求 めました。

2022年実績に対する考察

パーム油の原産地(パーム農園)までのトレーサビリ ティの確認については、パーム搾油工場およびサプラ イヤーが所有する自社農園までの追跡を完了しました。 農園までのトレーサビリティについては引き続き、中 小規模の農園までの確認をサプライヤー、農園、NGO などさまざまなステークホルダーと連携して進めてい きます。小規模パーム農園の支援では、390農園が RSPO認証を取得することができました。また、グリー バンスメカニズムの導入については、2022年9月より

責任ある原材料調達

インドネシア北スマトラ島の50農園を対象に運用を開 始しました。

紙・パルプの原産地までのトレーサビリティは2021 年に引き続きほぼ100%となり、認証品比率は97%と なりました。2025年100%達成を2023年に前倒しす るべく、引き続き小規模のサプライヤーに対して認証 品の導入、サステナビリティの確認を働きかけます。

人権への取り組みについては、グローバルの直接材 全サプライヤーに対してSedexへの加盟、質問への回答、 データへのアクセス権の設定の要請を進めています。 2022年末時点でグローバルの取引の88%(金額ベース) がSedex 加盟会社(代替プログラム、花王 SAQ 含む)と の取引となりました。今後さらにSedexへの加盟を求 めると共に、アセスメント結果が低いサプライヤー(B 評価、C評価)には改善を求めていきます。

ハイリスクサプライヤーに対するSMETA 監査は、 2021年にコロナ禍の下2社実施から開始しました。 2022年は、対象会社との十分な対話により理解を得ら れた結果29社に実施することができほぼ目標を達成し ました。2023年は、日本国内の現時点でハイリスクと 評価したサプライヤーについて監査を完了する予定です。



責任ある原材料調達

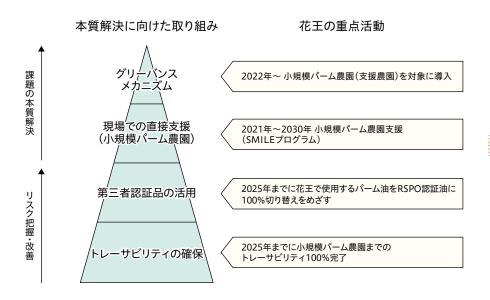
主な取り組み

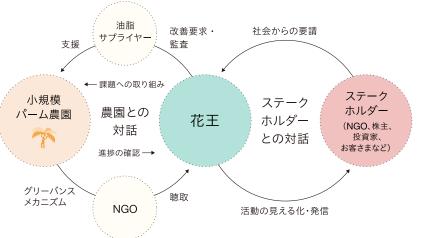
最も大切にすべき天然資源パーム

花王にとって、最も大切にすべき天然資源はパーム であり、持続可能なパーム油調達に向けた活動を進め ています。

花王では、油脂サプライヤーとそのグループ企業、ま たその投資先企業に対してNDPE方針、HCSA*の考え 方の遵守徹底の要求と確認を進めています。また、 2025年に向けて、RSPO 認証油の使用拡大、およびパー ムサプライヤー・NGOと協働で小規模パーム農園まで のトレーサビリティ完了をめざしています。

※ HCSA: High Carbon Stock Approach (高炭素貯留アプローチ)





Lifestyle Plan

責任ある原材料調達

小規模パーム農園の支援

花王、油脂製品製造・販売会社のアピカルグループ、農園(プランテーション)会社のアジアンアグリの3社は、パーム油の持続可能なサプライチェーンの構築をめざし、インドネシアの小規模パーム農園の生産性向上、持続可能なパーム油に対する認証の取得を支援する「SMILEプログラム」(SMallholder Inclusion for better Livelihood & Empowerment program) を実施しています。

この活動は、現地農民の生活レベルの向上と森林伐採の抑制を目的としています。2030年までに約5,000農園を対象に、プランテーションメーカーの教育専門チームが生産性向上(目標収率2倍)に向けた技術指導、RSPO認証取得に向けた教育(RSPO基本理念、安全教育、収量管理方法)を行うことによって農園の生活レベルの改善を行います。さらにすべてのインドネシア小規模パーム農園の生産性が2倍になった場合、ボルネオ島に現存するパーム農園と同等面積(約400万へクタール)に相当する新たな森林伐採を抑制する効果が期待できます。

2020年から開始したPhase1では、スマトラ島の628 農園を対象に、農地管理、労働安全、火災管理、RSPO 認証取得などに関する教育を実施しました。

その結果、2022年に390農園がRSPO認証を取得し、 花王はこの認証を取得した小規模パーム農園の認証クレジットを全量購入しています。小規模パーム農園の 認証クレジットは、認証プレミアムを農園が直接受け 取ることができるしくみで、これにより農園は安定的 な収入を得ることができます。また、11月よりPhase2 として新たに1,688農園の農地のリスク調査と農園の 実態調査を開始しました。

また、花王独自技術の「アジュバント*」を紹介し使用方法を指導しています。2022年2月から北スマトラ州での使用テストを開始し、その効果を検証すると共に順次小規模パーム農園に提供していきます。

※ 花王が開発した植物原料由来の高機能の農薬展着剤。農薬散布時に 薬剤が濡れ広がるように植物表面に展着させる



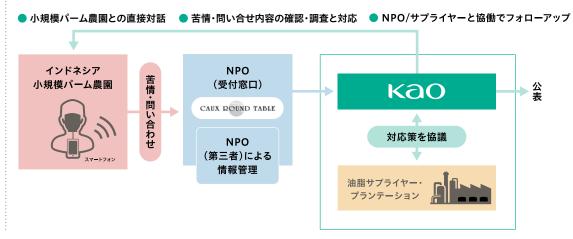
グリーバンスメカニズムの導入に向けた取り組み

2022年より「SMILEプログラム」で支援するインドネシアの小規模パーム農園の人権問題への迅速な対応手段として、グリーバンスメカニズムを開始しました。グリーバンスメカニズムとは、現場(農園)の課題(苦情)をNPOと共に確認・調査し、解決に向けた対応を主体的に行い、フォローアップするまでの取り組みです。

2022年9月よりインドネシアの北スマトラ島の50 農園を対象に運用を開始し、認証制度、パーム生産、持 続可能な農園などについて約100件の要望・問い合わせ が寄せられました。NPOと共に対応を進めています。

引き続き、花王は現場(農園)での対話を起点に、サステナビリティ向上に向けて、本質的な課題解決への活動を強化していきます。そして、その活動内容を社外の

花王 小規模パーム農園グリーバンスメカニズム









Lifestyle Plan

責任ある原材料調達 GRI308-2, 414-2

ステークホルダー(NGO等)に発信し、対話を通してさ らなる改善につなげていきます。

サプライヤーとの協働

サプライヤーのモニタリング

環境、安全、法令と社会規範の遵守、人権・労働問題の 取り組みなどを定めた「お取引先に求めるパートナー シップ要件 | の遵守状況の確認、リスクアセスメントに Sedex を活用しています。2014年加盟後、2016年より 本格的に活用を開始し、グローバルの直接材全サプラ イヤーに対してSedexへの加盟、質問への回答、データ へのアクセス権の設定の要請を進めています。

Sedexへの加盟が困難なサプライヤーに対しては、 Sedexを補完する評価ツールとして、独自の調査票(花 王SAQ)も活用しています。花王SAQは法令遵守・人 権・取引慣行等の社会的責任の項目と汚染防止(大気、 水等)を含めた環境方針・環境目標・各種管理等の環境 保全の項目から構成されます。

新規サプライヤーの採用にあたっても、同様のアセ スメントを実施しています。

2022年末時点でグローバルの取引の88%(金額ベー ス)がSedex加盟会社(代替プログラム*1、花王SAQ含 む)との取引となりました。今後さらに高めていきます。 また、Sedexにおいてアクセス権が設定されたサプ ライヤーに対して、Sedex アセスメントツールによる リスクアセスメントを実施しました。このアセスメン

ト結果をサプライヤーにフィードバックし、総合評価 が"A"以上となるように、改善を要する項目について見 直しを求めました。

※1 EcoVadis 等 Sedex に代わる調査プログラム

CDPサプライチェーンプログラム※2

花王は、資源制約、生物多様性の劣化や地球温暖化な どの環境問題、人権問題などを踏まえ、持続可能な開発 におけるリスクを認識し、持続可能な原材料の調達に 取り組んでいます。これらの取り組みは、サプライ チェーン全体で管理することが重要であり、「気候変動」 「水 | および 「森林 | についてCDP サプライチェーンプ ログラムに参加し、主要なサプライヤーに情報開示を 依頼しています。2022年の回答率は気候変動が81%、 水が90%、森林が97%でした。

また、森林資源に関わる項目はCDPフォレスト※3に 回答することを通じ、リスク評価を行っています。

※2 CDPサプライチェーンプログラム

CDPは、機関投資家の運営による非営利団体であり、気候変動・水・ 森林に関する情報開示を企業等に求める活動等を行っている。サプ ライチェーンプログラムとは、メンバー企業が自らのサプライヤー に対し、気候変動・水・森林に関わる情報開示についてCDPプラッ トフォームを用いて求める取り組み

※3 CDPフォレスト

CDPによる森林資源の管理・利用状況等の情報開示を企業に求める 取り組み

花王ベンダーサミット

花王では、国内外で毎年サプライヤーとの情報共有・ 意見交換の場として「ベンダーサミット」を開催し、年

度ごとにテーマを決めてコミュニケーションを図って います。

2022年は2021年と同様にリモートで開催しました (日本、台湾)。2022年のベンダーサミットにおいては、 「責任ある調達」に向けてESG調達(Sedex加入、 SMETA 監査実施、CDP サプライチェーンプログラム 参加、LC-CO2の取り組みなど)および安定調達(原材料 のトレーサビリティ、情報セキュリティ対応など)につ いて、花王とサプライヤーが共に取り組む活動の説明 と協力を要請しました。また、2016年から実施してい るお取引先表彰制度は、2022年より「戦略的パート ナー|「ESG|「安定供給|の観点からの表彰に変更し、優 秀なお取引先を表彰しました。

ベンダーサミット出席会社数(単位:社)

	日本開催	日本以外開催	合計
2018年	243	230	473
2019年	239	267	506
2020年	中止	中止	_
2021年	246	108	354
2022年	273	29	302



責任ある原材料調達 GRI404-2

教育と浸透

社員研修や啓発を実施(日本)

花王では、新たに購買部門に配属された社員に対し、 「公正・公平」「遵法・倫理」「社会的責任」などの購買基本 姿勢について教育し、国連グローバル・コンパクトや ISO 26000で求められている、人権・労働などグローバ ルな社会的課題の認識を持つようにしています。2022 年は、新たに購買部門に配属された社員5人に対し購買 基本姿勢について教育しました。

検定受験の推進(日本)

購買部門の社員一人ひとりが社会や環境との関係を 認識し、行動を変革するための教育として、資格試験の 受験を推進しています。2022年は環境社会検定試験® (eco検定®※)の受験を推進し、2022年の部門在籍者の 累計合格者は84%となりました。

※eco検定®:環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の促進をめざ す検定試験

